

## 2018 年度事業計画

活動 6 年目を迎える本年度、質・量ともにより一層の発展をめざして、以下のおもな事業の実施と、持続可能なフードバンク活動を実現する取り組みを進めていきます。

### 1. 食品提供サービス事業

- ① 社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体等への食材提供サービス事業に取り組みます。
- ② 契約施設・団体の食品ニーズと提供食品をマッチングさせるための調査に取り組みます。
- ③ 各サテライト（拠点）を軸とした地域に根ざした活動を行うとともに、各拠点でのパントリー事業等を通じた食品提供事業の拡大に取り組みます。
- ④ 生活困窮者自立相談窓口等につながらない、困窮者及び困窮世帯の子どもたちを発見し、個別宅配による食糧支援に取り組みます。

### 2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 食品関連業者等から余剰食材回収サービス事業に取り組みます。とくに個人への食品提供事業を進めるにあたり、ニーズにあった食品の確保につとめます
- ② 2017 年度に食品を提供していただいた企業(団体)等に対して 2017 年度事業報告書の送付をおこない、引き続いての協力依頼に取り組みます。
- ③ 個人支援向け食品回収事業として、フードドライブを実施します。具体は、社会福祉協議会への協力依頼、各種イベントへの参加、ダイエー49 店舗への引き取りを実現します。
- ④ 地域事業所（大阪府本社）への協力の呼びかけと既存の登録企業への引き続き協力依頼をおこない食品回収事業の拡大に努めます。

### 3. 会員とボランティア

- ① ふーどばんく OSAKA 応援団「すけっと」会員の拡大に取り組みます。
- ② ボランティア登録とボランティア活動への参加、拡大に取り組みます。
- ③ フードバンク活動は実際に参加することで社会貢献に携わっていることを実感できる活動です。ボランティアとして日常生活で接する機会の少ない施設・団体をまわり、そこで元気に働く職員・入所者の人たちと接し、「ありがとう」の言葉と「元気」をいただけてきます。そのように互いを支えあうことが体験できる「ふーどばんくデー」を毎月第 4 土曜日に実施してきました。2017 年度は、企業や団体からのボランティア参加が拡大しました。2018 年度も引き続き、ふーどばんくデーの実施と企業・団体からの参加を呼びかけ実施します。

### 4. 広報活動

- ① ホームページの充実をめざします。日常の活動報告とあわせフードバンクにかかわるさまざまな情報（環境問題や世界の食品ロス削減の取り組みなど）を発信し、活動への理解が

深められるように努めます。

- ② フードバンクにかかわる研修の受け入れや講演活動に取り組みます。この活動は、あわせて自主財源獲得の手段の一つとして位置づけ進めます。
- ③ 各種連携団体等が主催するイベント等への参加に取り組み、フードバンク活動の周知・啓発に努めます。

## 5. その他

- ① 設立5周年報告集会を開催し、これまでの実績をもとに、これからのフードバンク活動の目標を追求します。
- ② 2018年度の事業展開を実現する、事務局体制・応援体制の充実を行います。
- ③ 各種助成金などの情報収集やクラウドファンディングの活用、寄付金の獲得など、自主財源確保のための事業展開をめざします。